

岡山大学の^人々

このコーナーでは、本学で働くユニークな方々を紹介していきます。第1回目は、エレキバンド「Blue Earth」のリーダーである医事課職員・金出地 元東さんです。



金出地元東 (かなでち・もとほる)
昭和25年1月、岡山市生まれ。
昭和43年4月、本学に採用。
平成22年度からは再雇用職員として医事課で勤務。

岡

山大学病院で、その名を知らない人はいないエレキバンド・Blue Earth。

7月に、バンド結成27周年を迎えます。

年

に1回、岡山大学病院で院内コンサートを開くほか、さまざまな病院などで演奏しています。そのステージ回数はじつに二百数十回。最近では、鳥取県三朝町に招かれ、400席のホールをほぼ満席にしました。



レパートリーはベンチャーズ、寺内タケシ&ブルージーンズのナンバーが中心ですが、日本民謡やクラシック、クリスマス曲など幅広く、200曲以上あります。ちなみにコンサート

練

習は自宅の防音スタジオ(100坪弱)で、コンサート前に集中して行います。そのほかにも夏には3泊4日の強化合宿を行います。合宿には

音

楽の楽しみは「出会い」だそうです。「音楽を通じて、国籍や年齢が違う人たちとすぐに仲良くなる。私の一番

知りあえて、学ぶところが多い。もちろん、仕事も真剣。「若い人が成長できる環境をつくるのが上司の義務。上司の指導力がなによりも求められる」と厳しい指摘もあります。

若

者へのアドバイスは「趣味を持って」。そして、「とにかくやってみなさい」と言いたい。失敗しても若いんだから取り返しがつく。

「音楽は死ぬまで続けたい。夢は50周年記念コンサートを創立50周年記念館で開催すること」と語る金出地さんに「人生を楽しむ達人」の姿を見ました。



マイケル石田▲
をみました。

昭和58年、歯学部全国会議での懇親会のために結成されました。当時のバンド名は「金ちゃんバンド」。3年後、マイケル石田が加わり、Blue Earthと改名。幾度かのメンバー交代を経て今年

「若い人もたくさん聞きに来てくれる。早期の退院は難しいと言われていた、自律神経失調症の若い患者さんがコンサート後、1週間で退院することになった。その理由を聞いたら、『エレキの音に元気をもらったから』だった」というエピソードもあります。

バンドのファンクラブで岡山大学病院の元看護師長3人が結成するバンド「おたんこナース」や後援会長の小橋学生支援課長もかけつけます。「音楽三昧でとても楽しくてね。朝からビールだし」。

けられました。とくに医療情報部長・医療安全管理部長の太田吉夫教授と副病院長の保科英子看護部長には厚く感謝いたします(この部分、ご本人の強い希望により掲載します)。



アントニオ金光▶